

# カーボンニュートラル達成に貢献する 大学等コアリション

## イノベーションWGの活動（2021-22）について

2022年3月11日

イノベーションWG 幹事機関  
東海国立大学機構 名古屋大学  
北陸先端科学技術大学院大学  
京都大学

京都大学 エネルギー科学研究科  
教授 石原 慶一



※本資料の改変、二次利用は控えください。

## 概要

カーボンニュートラル達成に向けては、新たな革新的技術の研究開発を推進するとともに、各大学や研究機関に存在する多様な技術シーズを産学官民連携を通じて社会に引き出し、その実装を加速することが必要である。この際、産業界ネットワークや自治体ネットワーク等と連携して、できるだけ多くの主体を巻き込む取組の展開について、大学の先導的役割が期待される。このような観点から、産学官民連携に係る各大学等の既存の取組の共有、展開、拡大・充実を図るとともに、大学のシーズと企業等のニーズのマッチングによる共同研究の加速、研究成果を地域の実証研究や社会実装につなげる橋渡しの円滑化のほか、未来社会像からバックキャストして必要な技術課題を抽出し、それに係る研究開発を推進するなど、産学官民連携等による新たな研究開発やその成果の社会実装に係る仕組みの在り方等について検討し、実践する。

## ミッション

- カーボン・ニュートラルの達成に貢献するための脱炭素技術その他の知見に係る共同研究やその成果の社会実装を加速するため、**国や地域における産学官民連携を強化するための体制整備を推進する。**

## 活動の方向性

- 各大学等において取り組む産学官民連携の先進的な取組に係る成果と課題等を共有・展開し、その拡大や充実を図る。
- カーボンニュートラル達成という共通の目標に向けた、産学官民連携を通じた新たな研究開発や社会実装に係る仕組み作りについて検討を行うとともに、議論を踏まえて実践する。  
【観点例】
  - ・各大学の産学連携組織等が持つ情報を横断的につなぐデータベースの構築
  - ・大学の研究シーズを含む脱炭素技術の集約と課題の抽出
  - ・研究成果を実証研究や社会実装につなげる橋渡しの機能強化
  - ・未来社会像からバックキャストした技術課題の抽出と研究の推進
  - ・地域だけでは困難な研究テーマの大学間連携による取組み
  - ・脱炭素化にむけて国内の各主体の活動の基盤となる技術・社会インフラの領域（「協調領域」）の特定
- 技術イノベーションのみならず、ライフスタイルイノベーションやルールメイキングを通じた社会イノベーションの推進等の観点から、人文・社会科学から自然科学までの幅広い分野の研究者を集め、カーボンニュートラル達成に向けた実行可能な方策に係る議論を行うための場の創設について検討する。

## イノベーションWG

### イノベーションWG担当運営委員

東北大学  
東京工業大学  
富山大学  
福井大学  
東海国立大学機構（名古屋大学）  
豊橋技術科学大学  
京都大学  
大阪大学  
神戸大学  
山口大学  
北陸先端科学技術大学院大学  
奈良先端科学技術大学院大学  
東京都立大学  
東京都立産業技術大学院大学  
埼玉工業大学  
慶應義塾大学  
東京理科大学  
早稲田大学  
愛知工業大学  
中部大学  
福岡大学  
環境再生保全機構

22機関

※赤字下線が幹事機関

北海道大学  
室蘭工業大学  
岩手大学  
群馬大学  
埼玉大学  
千葉大学  
電気通信大学  
政策研究大学院大学  
東京海洋大学  
新潟大学  
長岡技術科学大学  
金沢大学  
山梨大学  
静岡大学  
名古屋工業大学  
鳥取大学  
熊本大学  
大分大学  
鹿児島大学  
自然科学研究機構  
核融合科学研究所  
滋賀県立大学  
福岡工業大学  
長崎国際大学  
崇城大学  
第一工科大学

日本原子力研究開発機構  
大阪市立大学  
兵庫県立大学  
公立鳥取環境大学  
東北工業大学  
学習院大学  
工学院大学  
駒澤大学  
東京電機大学  
東洋大学  
日本大学  
文化学園大学  
文化ファッション大学院大学  
明治大学  
東京工科大学  
神奈川大学  
麻布大学  
新潟薬科大学  
金沢工業大学  
静岡理工科大学  
中京大学  
日本福祉大学  
名城大学  
長浜バイオ大学  
同志社大学  
龍谷大学

京都先端科学大学  
大阪工業大学  
神戸国際大学  
関西学院大学  
富山県立大学  
甲南大学  
高エネルギー加速器研究機構

【協力機関】  
科学技術振興機構  
理化学研究所  
海洋研究開発機構  
産業技術総合研究所  
新エネルギー・産業技術総合開発機構  
地球環境産業技術研究機構  
サステイナブルキャンパス推進協議会

**全参画機関 87機関**  
**大学等 80機関**  
**協力機関 7機関**

（2022年2月現在）

WG（6回程度）とシンポジウム（2回程度）を開催し、各大学等において取り組む産学官民連携の先進的な取組みに係る成果と課題等を共有・議論し、大学間連携を推進するとともに、産学官連携を加速するための新たな場の創設について検討する。なお、広く産業界にシンポジウム等の開催を周知し、参加を促す。

## WG 全体会合

- **第1回** 年度活動計画の検討・策定【2021年9月頃】 ▶ **9月28日開催済み**
- **第2回** 第1回シンポジウムの実施内容の検討等【2021年11月頃】 ▶ **11月2日開催済み**  
(先進的な取組みに係る成果と課題等の効果的な共有・展開方法等について)
- **第3／4回** 第1回シンポジウムの総括／第2回シンポジウム実施内容の検討等【2022年3月～5月頃】  
(カーボンニュートラル達成に向けた実行可能な方策に係る議論を行うための場の創設等について)
- **第5回** 第2回シンポジウムの総括【2022年6月～7月頃】 ※第2回シンポジウム終了後
- **第6回** 次期年度活動計画の検討・策定【2022年8月頃】 ※総会の時期を勘案して開催

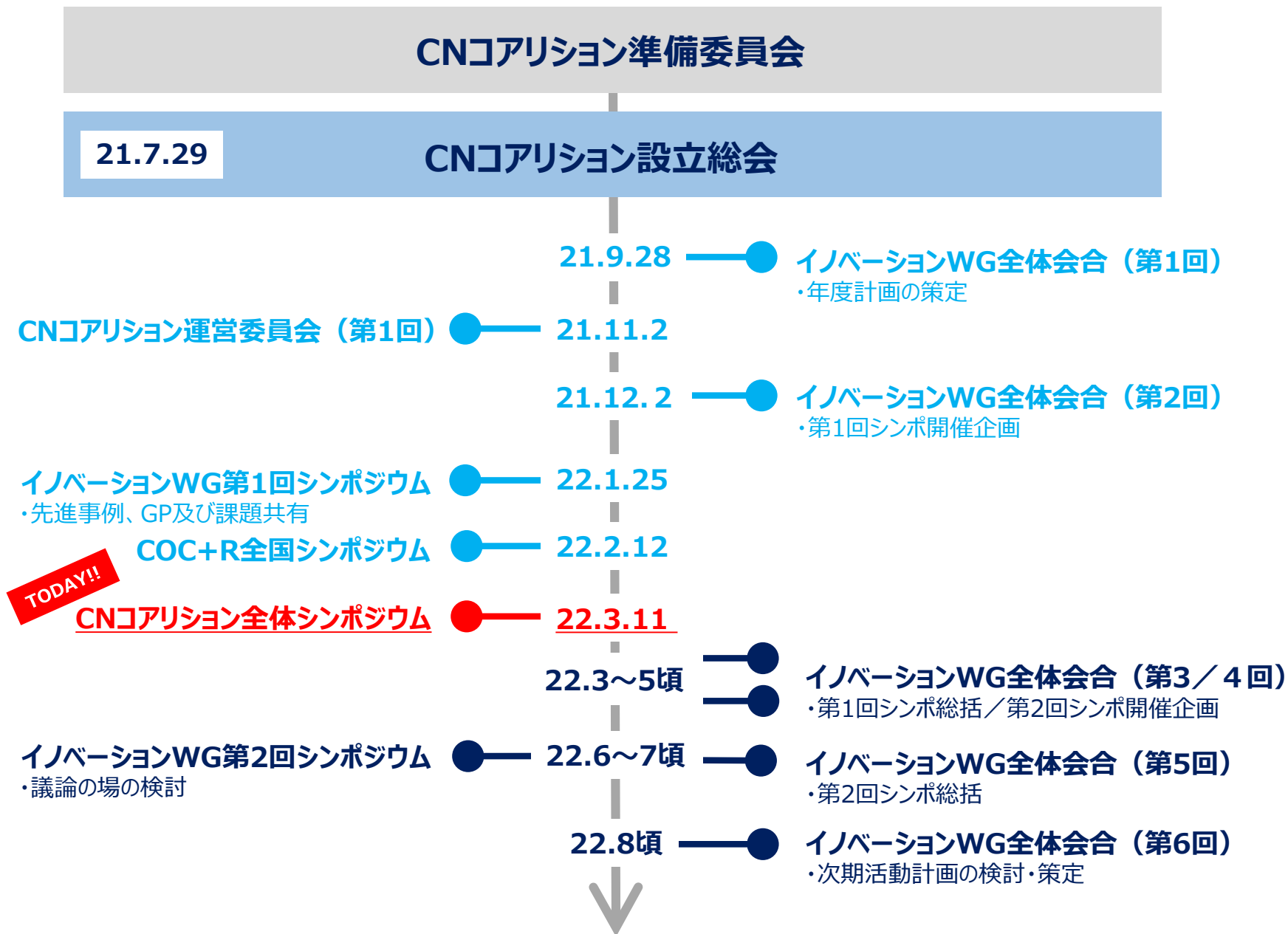
※審議内容に応じて、担当運営員会において審議することも想定。

## シンポジウム

- **第1回シンポジウム（2021年12月～2022年1月頃）** ▶ **22年1月25日開催済み**  
イノベーションWG幹事機関を中心に、各大学等における産学連携組織において、特徴的で一般化し得る取組み、成功事例及び課題等について講演する。さらに、連携推進や課題解決を目的としたパネルディスカッション等を行う。なお、カーボンニュートラルを含め、幅広い分野における事例を議論の対象とする。
- **第2回シンポジウム（2022年6月～7月頃）**  
技術イノベーションのみならず、ライフスタイルイノベーションやルールメイキングを通じた社会イノベーションの推進等の観点から、カーボンニュートラル達成に向けた実行可能な方策に係る議論を行うための場について検討する。

## その他

多くの大学等からの参加が可能となるよう、基本的にオンラインで実施するとともに、代理出席も可能とするなど、柔軟な運用とする。



## 参加者



## 議 事

### 1. 大学等コアリション運営委員会（第1回）について（報告）

→ 11月2日に開催されたコアリション全体の運営委員会の報告

### 2. カーボンニュートラル関連の研究開発・政策動向等について

→ CNを中心とした近年の政策トレンド及び技術開発動向についての紹介

➢ NEDO 技術戦略研究センター（TSC） 飯村 亜紀子次長

➢ JST 研究開発戦略センター（CRDS） 中村 亮二 環境・エネルギーユニットリーダー

### 3. イノベーションWGシンポジウム開催の方向性について

→ 幹事機関より第1回イノベーションWGの開催計画案について説明、審議了

## 開催時期

2021年12月2日（木）15：30～17：00

## 開催方法

オンライン（zoom）

## 参加者

イノベーションWG関係者 約150名



NEDO – TSC説明資料



JST – CRDS説明資料

## 概要

## 開催時期

## 開催方法

## 参加者

カーボンニュートラルの達成に向けて、現在各大学等の産学連携組織において実施している、特徴的で一般化し得る取組み、成功事例及び課題等について、イノベーションWG幹事機関を中心に紹介する。

テーマについては、カーボンニュートラルを含め、幅広い分野における事例を議論の対象とする。さらに、連携推進や課題解決を目的としたパネルディスカッション等を行うことにより、今後のWGの活動の方向性について参加大学等間での意識の共有・醸成を図る。

2022年1月25日 (火) 13:15~15:45

オンライン (zoomウェビナー)

コアリション参加機関 321名 (377名申込み)

## 開会 | 御挨拶

- ・ 京都大学 時任宣博 理事・副学長
- ・ 総合地球環境学研究所 山極壽一 所長

## 第一部 基調講演

- ・ 経済産業省 大学連携推進室 大石 知広 室長
- ・ 文部科学省 拠点形成・地域振興室 梅原 弘史 室長

## 第二部 産官学連携の先進事例について

- ・ 酒井 武信 名古屋大学
- ・ 寺野 稔 北陸先端科学技術大学院大学
- ・ 庄境 誠 京都大学
- ・ 所 千晴 早稲田大学
- ・ 一ノ瀬雅之 東京都立大学
- ・ 後藤 琢也 同志社大学

## 第三部 パネルディスカッション

カーボンニュートラル・イノベーション創出の展望と課題

## 閉会

## イベント コンテンツ

カーボンニュートラル達成に貢献する  
大学等コアリション イノベーションWG  
第1回シンポジウム

カーボンニュートラルの達成に向けて、現在各大学等の産学連携組織において実施している、特徴的で一般化し得る取組み、成功事例及び課題等について紹介します。  
パネルディスカッションでは今後のワーキンググループの活動の方向性について参加大学等間での意識の共有・醸成を目指します。

1st symposium

【日時】  
2022.1.25 [火] 13:15~15:45

【会場】  
オンライン (zoomウェビナー利用)

【申し込み】  
対象 大学等コアリション参加機関に所属の教職員、学生等  
※上記以外の方については、お申し込みをいただく必要があります。  
受け付けフォームからお申し込みください  
<https://forms.gle/wbFvQdYVvJ3sqd6>

【締め切り】  
2022.1.24 [月] 正午  
定員500人

【お問い合わせ】  
大学等コアリション イノベーションWG事務局  
E-mail: [coalition@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:coalition@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

【プログラム】

開会 時任宣博 山極壽一  
京都大学 理事・副学長 総合地球環境学研究所 所長

第一部 | 基調講演

経済産業省 大学連携推進室 大石 知広 室長  
文部科学省 科学技術・学術政策課 梅原 弘史 室長

第二部 | 産官学連携の先進事例発表

酒井武信  
名古屋大学 未来社会創造機構オープンイノベーション推進室 副室長  
プロジェクト・エディタ・マネージャー 野村 雅也

寺野 稔  
北陸先端科学技術大学院大学 学長

庄境 誠  
京都大学 オープンイノベーション機構  
副室長・エディタ・マネージャー

所 千晴  
早稲田大学 理工学術院 創造理工学 教授

一ノ瀬雅之  
東京都立大学 都市環境学部 准教授

後藤 琢也  
同志社大学 学長補佐・理工学 教授

第三部 | パネルディスカッション

テーマ 「カーボンニュートラル達成に向けたイノベーション創出の展望と課題」

閉会



## 開会あいさつ



京都大学 時任理事



地球研 山極所長

京都大学  
時任宣博 理事・副学長

総合地球環境学研究所  
山極 壽一 所長

## 基調講演①

経済産業省 大石知広 室長

①令和4年度  
経済産業政策の重点  
～「経済」×「環境」の好循環～

②グリーン成長戦略～2050年に  
向けた大学における人材育成～、  
2兆円基金

③産学融合拠点創出事業

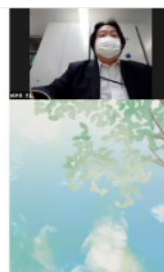
④官民による若手研究者発掘  
支援事業

⑤産学官連携による共同研究  
力強化のためのガイドライン



2050年ゼロカーボン社会を見据えた  
産業界における理工学系人材の活躍に向けて

2022年1月25日  
経済産業省 産業技術環境局  
大学連携推進室



## 基調講演②

文部科学省 梅原弘史 室長

共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 【地域共創分野】  
拠点名称: ゼロカーボンバイオ産業創出による資源循環共創拠点

|       |                                                                                                                                                          |            |                           |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------|
| 代表機関  | 京都大学                                                                                                                                                     | プロジェクトリーダー | 沼田 圭司<br>京都大学 大学院工学研究科 教授 |
| 幹事自治体 | 京都府                                                                                                                                                      | 幹事機関       | (企業等) 株式会社島津製作所           |
| 参画機関  | (大学等) 九州大学、京都工芸繊維大学、京都府立医科大学、京都産業大学、理化学研究所<br>(企業等) 三井住友建設株式会社、株式会社日本炭素循環500 (JCCL)、株式会社フナトシ、BASFジャパン株式会社、Spiber株式会社、ホロバイオ株式会社、Symbiobe株式会社、京都市、木津川市、舞鶴市 |            |                           |

プロジェクトの概要  
京都府は、京都府定章に紐づく二酸化炭素削減目標達成の必要性と社会的責務を有しており、ゼロカーボン社会およびそれを支えるゼロカーボン産業を実現することは、京都という地域に強く求められる将来ビジョンである。同時に、「京都府地域創生戦略」では、「環境にやさしく持続可能な社会づくり」、「農林水産業の成長産業化」が掲げられ、北部地



文部科学省における産学官連携施策について

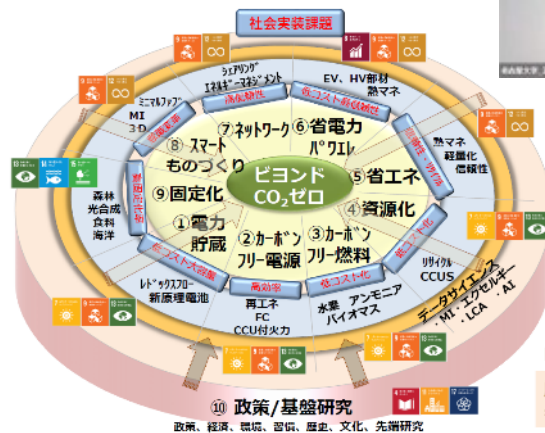
文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課  
拠点形成・地域振興室 室長 梅原 弘史



# イノベーションWG 第1回シンポジウム | 講演（先進事例紹介）

Nagoya University

## 2-3 カーボンニュートラル研究アーキテク



Copyright©2022 T. Sakai



に集中

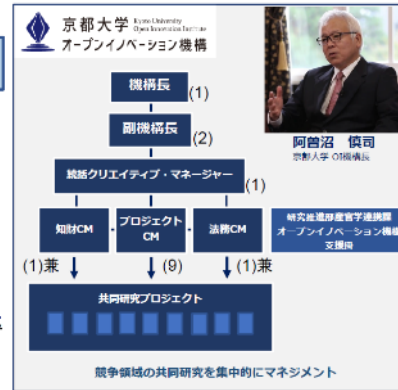
- 2) 連続性の大きい9つの技術領域を包括的に実施
- 3) SDGs、政策、経済、環境等の社会の潮流と人間行動の分析と理解を並行して研究⇒文理連携(融合)

■2021年4月募集開始

応募件数: 50チーム  
⇒ 産学連携活動中

## 名古屋大学の事例 ビヨンドCO<sub>2</sub>ゼロ(研究アーキテクチャ)

## オープンイノベーション機構の現



### OI機構が支援する 産学連携

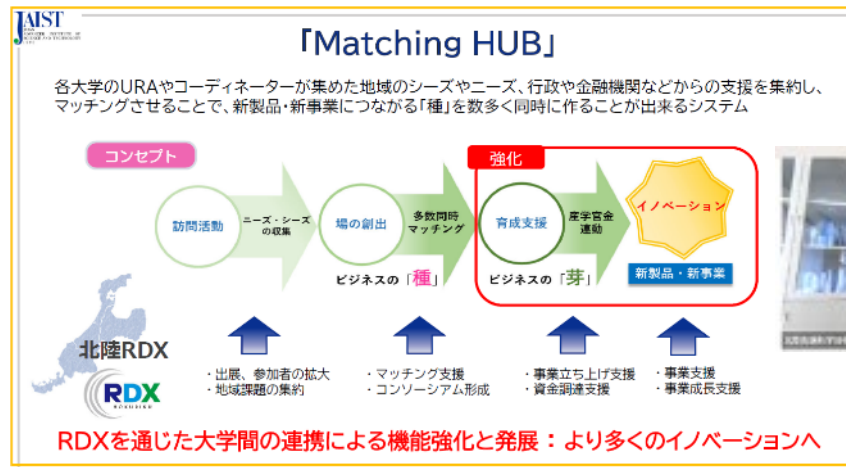
- ① 包括連携協定
- ② 大型共同研究
- ③ 大型化が見込める共同研究
- ④ 研究領域や学部等を横断する学際共同研究

↓  
自立運営を見据えた組織運営

## 京都大学の事例 オープンイノベーション機構(包括研究連携)



京都大学 京都大学学術連携本部  
知財戦略×社会連携×ベンチャー創出  
・京都大学学術連携本部の戦略・ポリシーの策定・総務・ポリシー・基・力に最大グループの事業活動の統合マネジメント  
京都グループ会社  
京大オリジナル株式会社  
Kyoto University Original Co., Ltd.  
TLO 京都  
KYOTO-iCAP  
京都アカデミア法律事務所

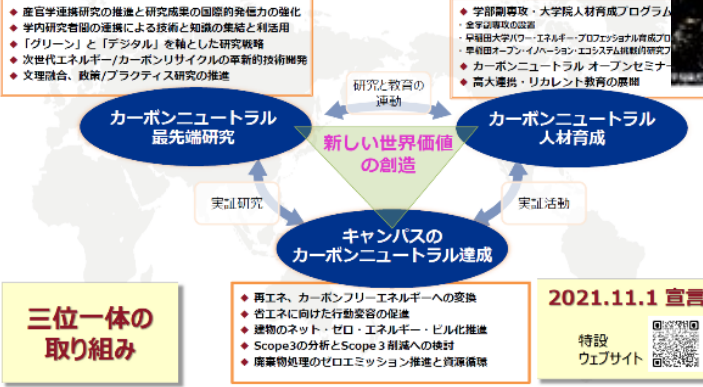


## 北陸先端科学技術大学院大学の事例 北陸DXアライアンス(マッチングHUB)

# イノベーションWG 第1回シンポジウム | 講演 (先進事例紹介)

## WASEDA Carbon Net Zero Challenge 2030s 独自性

早稲田大学では、未来を革新する「最先端研究力」と新たな時代を切り拓く「人材の輩出」の向上を  
として、キャンパス、地域社会、日本、そして、グローバルなカーボンニュートラル実現に貢献します



## 早稲田大学の事例

Carbon Net Zero Challenge 2030s (研究+人材育成)



## 同志社大学カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム

事業実施統括：塚越一彦（副学長・研究開発推進機構長）  
代表者：後藤琢也（学長補佐・教授）

2021年6月1日、CO<sub>2</sub>リサイクル・削減に関連する新技術の社会実装と教育への展開を目指し、  
本学と産学官の組織連携による迅速な研究実施と社会実装の仕組みとして発足しました。  
プラットフォーム参画者と教員と大学院生によるイノベーション教育を通じて生まれたシーズを育成します。

### 産官学の組織間連携

良心教育：ミッション研究+共同研究+学位  
協議体：参画者間の情報交換  
コンソーシアム：共同研究の仕組み

### 我々の強み

人材育成から技術開発まで網羅

### 課題

シーズ育成後の社会実装

### 相手への要望

共同研究ご提案、教育コースご参加  
社会実装のための共同研究パートナーシップ  
・CO<sub>2</sub>の分離回収・資源化  
化学・セラミックス系企業、プラント系企業、  
ガス化学系企業  
・熱・エネルギーマネジメント  
重工企業、電気・機械系企業  
・人材育成・社会人教育  
企業一般、官公庁等

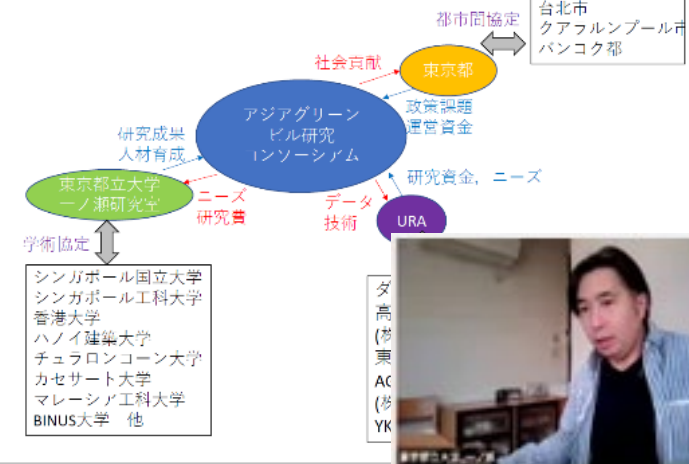
同志社大学全学事業として推進します

お問い合わせ：同志社大学 研究企画課  
TEL: 0774-65-8256/FAX: 0774-65-7757  
E-mail: pf-carbon@mail.doshisha.ac.jp

## 同志社大学の事例

カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム(人材育成)

## コンソーシアムの構築・連携



## 東京都立大学の事例

アジアグリーンビル研究コンソーシアム (国際共同研究) 10



# イノベーションWG 第1回シンポジウム | パネルディスカッション

## 第3部パネルディスカッション「カーボンニュートラル達成に向けたイノベーション創出の展望と課題」

- Q1** 大学と企業等がグループで共創的に社会課題の解決に取り組むための新たな仕組みは何か？  
→組織連携（MatchingHUB、コンソ型） | ロードマップ・ビジョン形成 | マネジメント人材・チーム
- Q2** カーボンニュートラル技術を社会実装する上での(特有の)課題と、その解決のために必要な仕組みは？  
→分野横断的な連携 | 多くの学内外組織の巻き込み
- Q3** 人文社会系を含む学際融合の必要性についての考えと、どのように取り組もうとしているのか？  
→新しい価値創造として人社系の貢献 | 金融・経済学の観点 | LCA、資源循環などのモデル化
- Q4** 本日の討論を踏まえて、今後のイノベーションWG活動に期待することは？  
→コアリションのなかでの大学間連携 | アカデミアでの成功事例の創出 | 社会ニーズに対する分野を超えた教育・研究アプローチ

### Panelist

|       |                                                                 |
|-------|-----------------------------------------------------------------|
| 酒井 武信 | 名古屋大学未来社会創造機構<br>オープンイノベーション推進室副室長<br>プロジェクト・クリエイティブ・マネージャー特任教授 |
| 寺野 稔  | 北陸先端科学技術大学院大学学長                                                 |
| 庄境 誠  | 京都大学オープンイノベーション機構<br>統括クリエイティブ・マネージャー                           |
| 所 千晴  | 早稲田大学理工学術院創造理工学部教授                                              |
| 一ノ瀬雅之 | 東京都立大学都市環境学部准教授                                                 |
| 後藤 琢也 | 同志社大学学長補佐・理工学部教授                                                |
| 齊藤 大地 | 文部科学省産業連携・地域振興課<br>拠点形成・地域振興室長補佐                                |
| 馬場 大輔 | 経済産業省大学連携推進室大学連携専門職                                             |

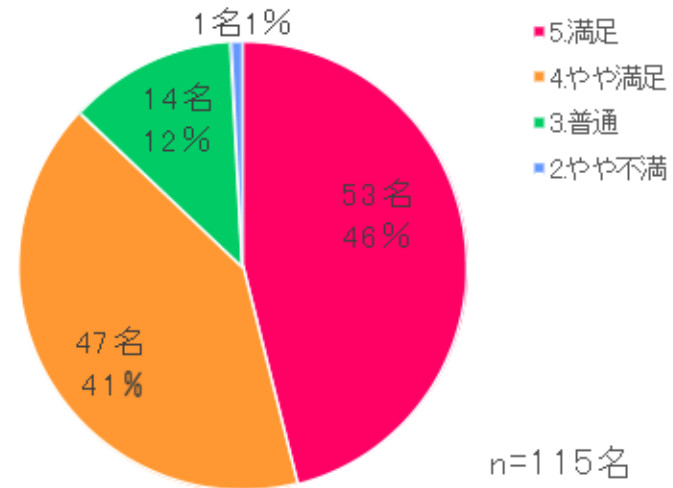
### Facilitator

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 石原 慶一 | 京都大学エネルギー科学研究科教授    |
| 永井由佳里 | 北陸先端科学技術大学院大学理事・副学長 |
| 永岡 勝俊 | 名古屋大学大学院工学研究科教授     |



## Q1. 今回のシンポジウム全体について どのくらい満足していますか。

回答者：115名／視聴者 321名  
(回答率 約36%)



## 主な意見

- カーボンニュートラル実現のためのキーパーソンが一堂に会し、多様な側面からの貴重な意見を頂ける場であったと思う。
- 各大学の考え方がわかり有意義。全般、総合知にむけた人文社会系の研究者の取り組みに賛成の意見が多かったので、今後の具体的なアクションにも期待したい。
- 既存の枠を超えて、産学官の新たな価値の創造（同時にその指標づくりが求められる）、そしてそれに関わらないという選択肢はない、ということに共感した。所属する大学において、大学の特徴を活かした取り組みをすることで独自性を出すことも必要。
- 基調講演にもあったように、CN社会実現のためには既存の社会常識を打破するゲームチェンジが不可欠となる。しかし、要素技術開発とは異なり、基盤インフラとなるエネマネの社会実証試験に向けてはリスク回避が絶対条件となり、大きなハードルとなることが想定される。今後の大規模な実証試験を想定した対応等の検討も必要ではないかと思う。
- 官庁とのディスカッションは今後も必要。理念的、理想的なことをいくら議論しても実際に行うことは突き詰めれば自発的に排出削減をするか、規制するかのどちらかになるから。理工系の研究では、実施可能な削減技術を開発し、安全で安価という改善を行うということで終わるが、それを採用するか、どのように実施するかを決めるのは政策（これを文系の研究というかどうかは別として）である。
- 大学の基礎研究と企業の実用化への開発には距離が有り、これを埋めるべくコーディネーター役の幅広い企業、業界へのネットワークが必要と感じている。
- 人文社会学との連携の重要性が提起された。議論の中でも出てきた「哲学」「文学」などにも焦点を当てるべきだと感じた。



## Q6. 今後、イノベーションWGへのご要望、期待することは？



### 1. グッドプラクティスなどの情報発信・アイデアの共有

- WGからコアリション参加大学への積極的な情報提供を期待します。
- 今後WG合同のシンポジウム・勉強会なども企画いただければと思います。
- カーボンニュートラルにむけた多様な意見、アイデアを共有できる運営、体制作りに引き続き期待しております。
- 今後、成功事例に関する紹介もしてほしいです。
- PJ立ち上げ事例など、取り組み方。またバックキャストを行う際の将来ビジョンの描き方など事例を知りたい。
- 大学のトップの認識が非常に重要であることが示された。是非学長レベルのCNについての認識共有を図っていただきたい。

### 2. ネットワーキングの強化

- 先進事例のネットワークに加わることを促すような企画があるといいと思います。
- 大学内で取り組むカーボンニュートラルの各テーマの社会実装を目指し、学内の産学官連携機関による協議の場を設営していただければ是非参加させていただきたいと存じます。

### 3. 総合知の活用

- パネルディスカッションにおける議論にもありましたが、理系分野との関わりの中で説明されがちなカーボンニュートラルの問題について、人文社会系の人材がどのような形で関わっていくことができるのか、具体的な取り組みについて話し合う企画を持って頂けたらと思います。
- 文系のコントリビューションが大切、という話題が出ていたので、今度は文系の方の先進事例報告を聞ければと思います。

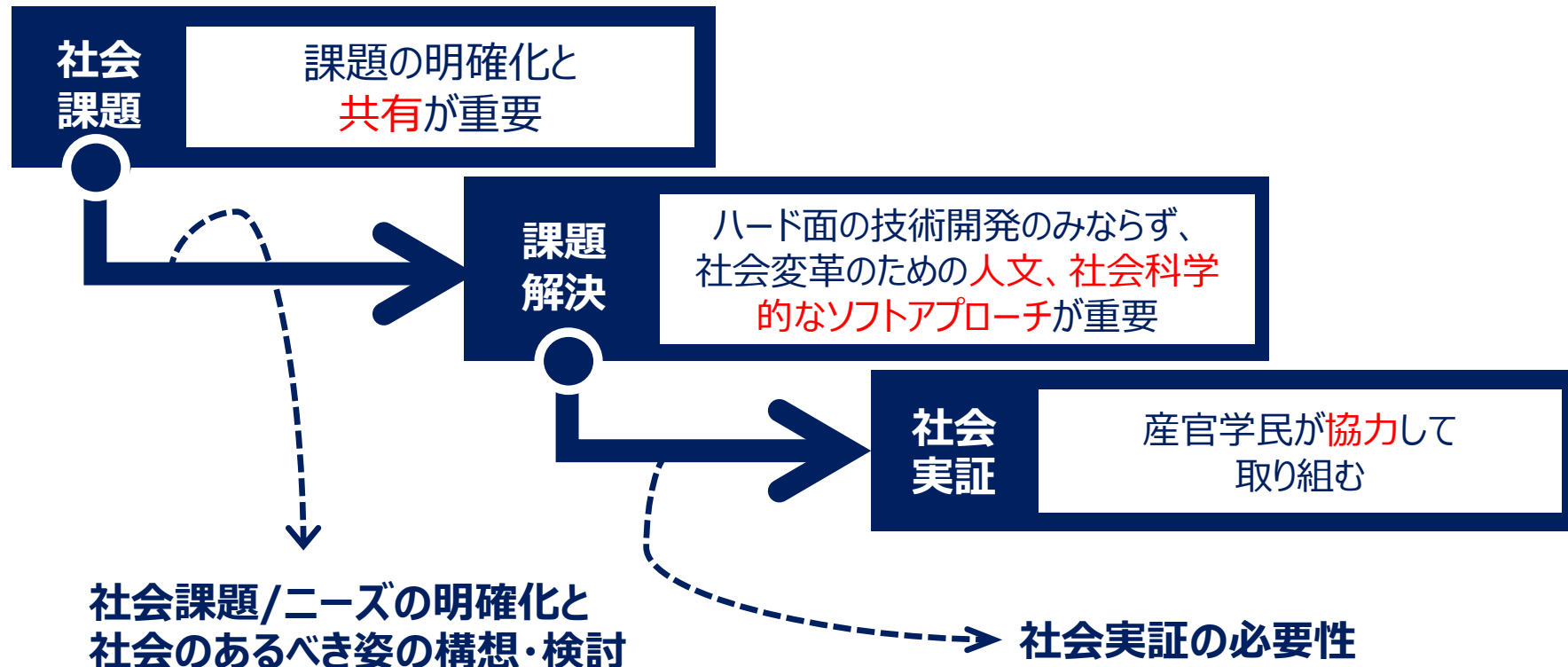
カーボンニュートラル達成に貢献する  
**大学等コアリション**

- 
- 令和3年度 大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（COC+R）全国シンポジウム**
- # 人材育成から 人材輩出へ
- 2022.2.12 SAT - 2.13 SUN** ※オンライン参加可
- 当日：2022/2/12（土）13:30～17:30（開場13:45）会場：青山学院大・健康本部講堂**  
※本講演は、「ローカル ESG」これまでの取組成果ではなく、産学官連携の重要性を伝える。  
 ※その他協賛した関係機関や企業など、関連大学が運営するイベントも実施。  
**ワークショップ：「COC+Rにおける地方大学と地域の関係性」等。そして他大学が運営するイベントも実施。**
- 翌日：2022/2/13（日）9:00～12:00（開場8:30）会場：富士山・最高峰展望ワークスペース「富士山を俯瞰するコラージュ」で富士山の雄姿を一望できる環境を整え、自然体験として一歩先へのアツクエッションを実施。結果として地方大学と地域との関係性を深めよう。**
- 文部科学省「大学による地方学生人材教育プログラムの構築事業（COC+R）」事務局責任者：佐々木大（幹事）、山崎真由子（幹事）、山崎弘志（幹事）、徳島大学**
- ローカル ESG.**  
 その地域らしい地方創生に向け、  
 地方大学が果たすべき役割とは？
- 参加申し込み**  
 下の URL または、右の QR コードより  
 事前登録をお願いします。
- セッションの開催ページ**  
<https://coc-r.jp/information/3-sympos/>  
セッションの開催概要、参加費、申し込み方法、申し込み期限、キャンセルポリシー、お問い合わせ先などを掲載しています。
- 

[illegible]

アンケート結果より

革新的な技術開発と制度改革を目指して、大学の役割を明確化し、  
(個々のみならず連携して一体となって) 取り組むことを実行する。



カーボンニュートラルの達成に向けては、社会そのものを変革し、新たな価値を創出することが求められており、このため、理工系のみならず、人社系を含めた大学の研究者がアカデミアの立場から、自治体、企業などの社会の担い手と対話し、その課題とニーズについての認識をともに深め、あるべき社会について議論し、その構想に参画するプロセスが必要であり、それらの「場」の創出が必要。

カーボンニュートラルの達成に向けては、既存の社会常識を打破するゲームチェンジが不可欠であり、要素技術の研究開発やラボスケールの実証のみならず、**社会における実証研究が必要。**このため、これらの社会実証について、事業の主体となりうる企業と、そのフィールドとなりうる自治体等の理解、協力が不可欠。

**ご清聴ありがとうございました。**

**本日の発表内容に対するお問い合わせ、  
イノベーションWGに対するご要望やご意見などがございましたら、  
以下までお寄せ願います。**

カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション  
イノベーションWG事務局

(東海国立大学機構名古屋大学 | 北陸先端科学技術大学院大学 | 京都大学)

[cn\\_coalition@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:cn_coalition@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)